

【目次】

1. 「西尾末広ら民社党を創り、育てた人々」コーナーをオープン、12月9日！
2. 日本労働会館第3回理事会を開く、12月17日！
3. 日本労働会館第1回公益事業推進委員会を開催、12月16日

1. 「西尾末広ら民社党を創り、育てた人々」コーナーをオープン、12月9日！

友愛労働歴史館は開催中の企画展「同盟結成から50年、その今日的意義を探る」の一部を模様替えし、12月9日から「西尾末広ら民社党を創り、育てた人々」コーナーをオープンいたしました。これは2014年が民社党の解党から20年、民社党の前身、社会民衆党結党（大正15年）から88年の節目の年であることを記念し、開催したものです。

同「西尾末広ら」コーナーは、第一部「民社党への道—社会民主党・社会大衆党、日本社会党」、第二部「民社党の基本理念—フランクフルト宣言、民社党綱領」、そして第三部「西尾末広ら民社党を創り、育てた8名の委員長たち」の三部構成です。



第一部「民社党への道—社会民主党・社会大衆党、日本社会党」では、1926（大正15）年の社会民衆党の結成（安部磯雄委員長）、1932（昭和7）年の社会大衆党（社会民衆党と日本労農党の統合）の結党、戦後の日本社会党（1947年。片山哲委員長）の結成、そして1960年の民社党結党までを展示・紹介しています。



第二部「民社党の基本理念—フランクフルト宣言、民社党綱領」では、1961年に民社党が加盟した国際組織・社会主義インターナショナルSIの基本綱領である「フランクフルト宣言」と、1962年に制定した「民社党綱領」について展示・解説しています（左写真は1977年の社会主義インターナショナル東京首脳会議）。



第三部「西尾末広ら民社党を創り、育てた8名の委員長たち」では、1960年の結党から1994年の解党までの35年の民社党の歴史と、西尾末広からの歴代委員長（西尾末広、西村栄一、春日一幸、佐々木良作、塚本三郎、永末英一、大内啓伍、米沢隆）を紹介しています。各委員長をキャッチフレーズで表現すると次のようになります。

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 初代委員長・西尾末広 | 「戦後改革のリーダーで民社党を結成した西尾末広」 |
| 第二代委員長・西村栄一 | 「沖縄本土並み返還と野党再編を提唱した西村栄一」 |
| 第三代委員長・春日一幸 | 「責任政党路線推進と共産党徹底追及の春日一幸」 |
| 第四代委員長・佐々木良作 | 「西側陣営の安全保障と行政改革推進の佐々木良作」 |
| 第五代委員長・塚本三郎 | 「国鉄改革と税制改革の現実路線を進めた塚本三郎」 |
| 第六代委員長・永末英一 | 「社会主義インターなど国際面でも活躍した永末英一」 |
| 第七代委員長・大内啓伍 | 「PKO推進と非自民連立政権を実現した大内啓伍」 |

第八代委員長・米沢 隆 「民社党解党と新進党への道づくりを担った米沢隆」

このように「西尾末広ら」コーナーでは、民社党歴代委員長を紹介していますが、展示・解説の中心は西尾末広（1891～1981）です。西尾末広は「信念の人」とされ、その生涯において四度、衆議院議員や所属政党を除名されながらも、不死鳥のように蘇ってきた人です。



1928（昭和3）年、西尾末広は第1回普選に社会民衆党から立候補して当選（社会民衆党は1932年に社会大衆党に統合）。1938（昭和13）年、西尾末広は「スターリンの如く」発言で衆議院議員を除名されます。また、昭和15（1940）年には反軍演説の斎藤隆夫を擁護したことで、他の社民系議員とともに社会大衆党を除名されます。

戦後、片山哲らと日本社会党の結党を主導しますが、1948（昭和23）年、疑獄事件（冤罪、無罪確定）で社会党を除名されます。また、1959（昭和34）年には安全保障問題を巡る党内対立から容共左派グループにより党を除名されそうになりますが、自ら西尾派（旧社民系）を率いて社会党を離脱（他に旧日労系・河上丈太郎派の一部）し、翌年、民社党を結成します。

西尾末広は「戦後改革のリーダーで民社党の創業者」とされますが、その生涯において衆議院議員を一度、所属政党を三度除名（未処分を含む）されています。しかし、それは自らの信念を貫いたことによるものであり、それ故、西尾末広は「百折不撓の人」、「鬣を持つ男」と呼ばれたのです。

2. 日本労働会館第3回理事会を開く、12月17日！

一般財団法人日本労働会館は12月17日、友愛労働歴史館研修室において平成26年度第3回理事会を開催し、報告事項（友愛労働歴史館関連、労使関係研究協会関連、ホテル三田会館関連）を確認するとともに、当面の諸問題について協議・確認しました。また会議終了後、各理事は、歴史館企画展「同盟結成から50年、その今日的意義を探る」の見学を行いました。

3. 日本労働会館第1回公益事業推進委員会を開催、12月16日！

日本労働会館は12月16日（火）午後、友愛労働歴史館研修室において平成26年度第1回公益事業推進委員会を開催しました。会議では日本労働会館公益事業（友愛労働歴史館、労使関係研究協会）の報告を受けるとともに、平成27年度の事業計画について論議・確認しました。

友愛労働歴史館は平成27年の展示会活動として企画展「日本社会主義運動の父安部磯雄—生誕150年—（仮称）」（2015.3.9～7.17）、同「赤松常子と社会運動—没後50年—（仮称）」展（2015.07.21～11.27）、同「全文協結成から50年、その今日的意義を探る（仮称）」展（2015.12.01～2016.04.28）を予定しています。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」



発行：友愛労働歴史館 責任者：徳田 孝蔵 担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12 友愛会館 8F TEL050-3473-5325

Eメール yuairodokishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairodokishikan.com>

権一館から120年、友愛会から102年